

名工建設株式会社

証券コード：1869



82th Business Report

第82期 株主通信

▶ 令和4年4月1日～令和5年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第82期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の決算が確定いたしましたので、事業の概況と業績につきまして、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている一方、世界的なエネルギー・原材料価格の高騰や金融引き締め等による景気後退懸念など、依然として取り巻く環境は厳しく、先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、堅調な公共投資と共に、コロナ禍で落ち込んでいた民間設備投資意欲にも回復傾向がみられますが、世界情勢不安による原油高・建設資材価格の高騰が依然として続いていることに加え、業界特有の課題である担い手確保や長時間労働の解消等への対応が急務となっており、企業業績への好材料は限定的と言わざるを得ない状況にあります。

当連結会計年度における当社グループの業績は、受注高は前期比12.6%増の95,690百万円、売上高は前期比1.5%増の84,185百万円となりました。利益面では、経常利益は前期比8.3%減の6,704百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12.3%減の4,657百万円となりました。

今後とも社会基盤の発展を支える企業としての責務を自覚し、「安全・信頼」を大切に事業に邁進することで、一層の企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
松野 篤二

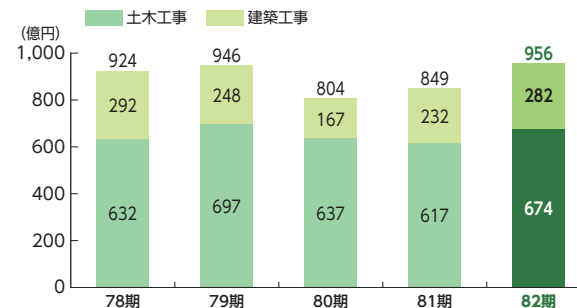
配当について

当社は安定収益を確保して、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いながら、安定配当を行うことを基本方針としておりますが、当社グループの当期の業績や今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たりの配当は年34円と増配することいたします。

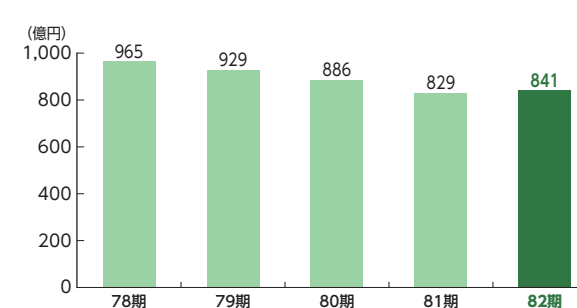
当期の期末配当は令和5年6月6日を配当支払い開始日として1株当たり19円とし、中間・期末合計で年34円の配当を実施いたしました。

連結業績ハイライト

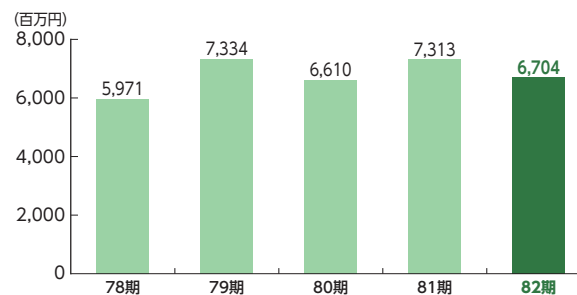
●受注高



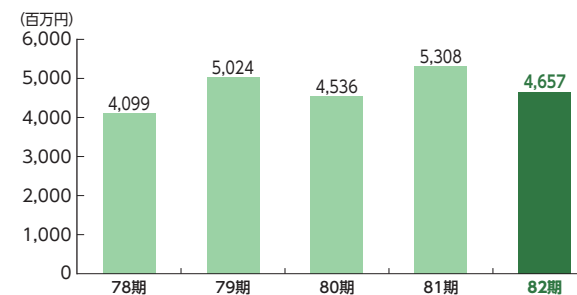
●売上高



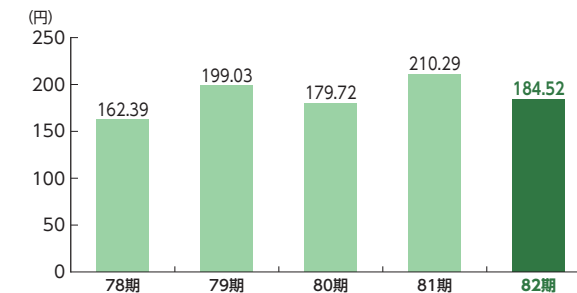
●経常利益



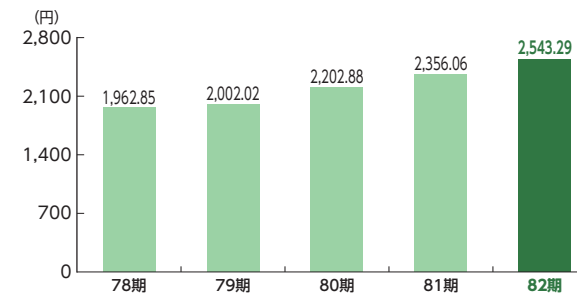
●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



主な部門別の概況

土木部門

受注高

67,448百万円 前期比 9.3%増 

売上高

61,193百万円 前期比 1.4%減 

- 受注高につきましては、官公庁工事・民間鉄道関連工事・一般民間工事ともに増加し、前期比5,732百万円（9.3%）増の67,448百万円となりました。
- 売上高につきましては、官公庁工事は増加しましたが、民間鉄道関連工事・一般民間工事は減少し、前期比870百万円（1.4%）減の61,193百万円となりました。

当期の主な完成工事



北陸新幹線、開発保守用斜路
(福井県福井市)



足羽川ダム付替県道4号橋A2橋台仮栈橋設置他工事
(福井県今立郡)



東京保線所管内土木構造物大規模改修その他工事
(RC橋R3) (東京都港区)

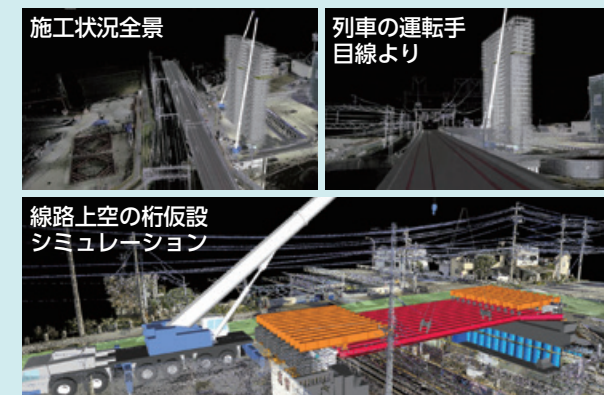


新幹線253K134付近第三浜名橋梁ほか2橋
橋脚修繕ほか(5) (静岡県湖西市)

Topics 1

「現場の見える化」による安全の確保と生産性向上

3次元設計データや3Dスキャナーで取得した点群データなどのCIMを活用し、「現場の見える化」を行っています。「現場の見える化」により、発注者を含む工事関係者が同じイメージを持ち意思疎通が可能となることで、協議や近隣にお住まいの方々に対する工事内容の説明等を円滑に行うことができます。加えて、事前に施工手順のシミュレーションを行い、様々なリスクを排除した工事計画により、効率的で安全な施工と生産性向上に繋がっています。



Topics 2

北陸新幹線軌道敷設工事について

北陸新幹線金沢・敦賀間（総延長125km）の延伸工事8工区のうち、当社が施工している福井工区とあわら工区の軌道新設工事（軌道延長約58.8km）は、現在開業に向けた最終段階を迎えています。

1日当たり200m程度の施工速度で行っていたスラブ軌道敷設は、令和5年3月末の時点で軌道延長約58.8kmの全区間が完了しており、現在は乗り心地を良くするためのレール調整や、列車の運行に必要な標識設置や保守作業設備等の施工を行っています。

これまでに培ってきた軌道敷設の経験を活かし、今後も竣工へ向け安全第一で工事を進めていきます。



主な部門別の概況

建築部門

受注高

28,242百万円 前期比 **21.4%**増 

売上高

21,630百万円 前期比 **9.7%**増 

- 受注高につきましては、民間鉄道関連工事は減少しましたが、官公庁工事・一般民間工事は増加し、前期比4,983百万円（21.4%）増の28,242百万円となりました。
- 売上高につきましては、民間鉄道関連工事・一般民間工事は前期と同程度でしたが、官公庁工事が増加し、前期比1,911百万円（9.7%）増の21,630百万円となりました。

当期の主な完成工事



畜産総合センター種鶏場整備建設工事（愛知県小牧市）



京都駅本屋天井改良ほか工事（京都府京都市）



乙川中学校改築工事（愛知県半田市）



船橋株式会社 中川工場新築工事（愛知県名古屋）

Topics 1

「建築・建材展Online2023」へ出展

令和5年2月14日（火）～3月10日（金）に開催された建築総合展「建築・建材展Online2023」へ出展し、当社の開放型耐震補強工法「SMIC工法」を紹介しました。

出展期間中は建築設計事務所や官公庁など多くの方々に紹介動画をご視聴いただき、SMIC工法と当社の技術力をPRしました。

今後もこれまでに培った技術力とノウハウを活かし、皆様の生活と安全を支える技術開発を進めてまいります。



※上の画像は掲載した動画の一部を抜粋したものです。
SMIC工法の詳細は、当社HPよりご覧いただけます。
<https://www.meikokensetsu.co.jp/tech/earthquake/>

Topics 2

ZEBへの取り組みについて

当社は、環境省が推奨しているZEB※¹への取り組みとして、平成30年よりZEBプランナー※²に登録し、建築主等の依頼に基づき、ZEB実現に向けたプランニングを実施しております。

当期までに、計5件の支援物件において建物の省エネ性能を評価する指標「BELS」の最高ランクを取得いたしました。

今後も、建築主等のニーズを踏まえた最適な省エネルギー技術提案を実施し、ZEBの普及に努めてまいります。



ZEBプランナー登録証

最高ランク認証取得証

※¹ZEB（ゼブ：Net Zero Energy Building）とは
快適な室内環境を保ちながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。2050カーボンニュートラルに向け、普及が促進されています。

※²ZEBプランナーとは
省エネ建物を設計するための技術や設計知見を活用し、一般に向けて広くZEB実現に向けた相談窓口を設置し業務支援を行う事業者。

第18次経営計画について

■当社は、盤石な経営基盤を構築するために、中期計画である「第18次経営計画（令和3年度～令和5年度）」を策定しております。

経営目標

経営目標 1. 信頼	Confidence
安全・品質の追求と社会的責務の遂行	

経営目標 2. 競争力	Competitiveness
低コストで顧客の多様なニーズに対応	

経営目標 3. 実行力	Capability
変化を乗り越える技術力と機動力の発揮	



3Cイノベーション

経営目標とした信頼（Confidence）、競争力（Competitiveness）、実行力（Capability）の「3つのC」を新たな基軸にして、盤石な経営基盤を構築するための変革「イノベーション」を進めることを企図しています。

数値目標

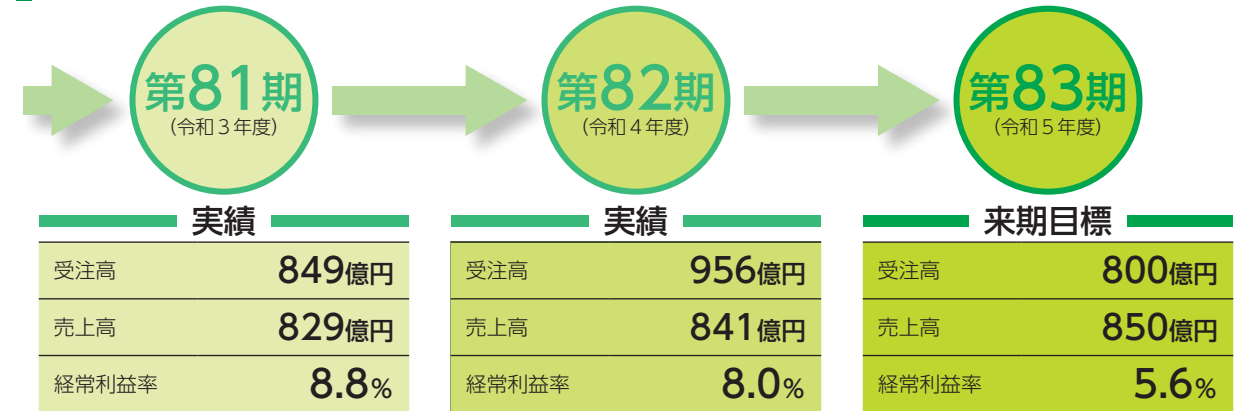
重大な労働災害・運転事故	ゼロ
受注高	800億円以上
売上高	800億円以上
経常利益率	4.0%

目指す企業像

「安全と技術の名工」

「社員が誇れる企業」

第18次経営計画 進捗状況



来期の目標は、繰越工事が豊富にあることから、受注高は当期比156億円減の800億円、売上高は当期比8億円増の850億円と計画いたしました。経常利益率は、受注競争の激化、建設資材のコストアップ等の懸念による工事利益率低下が予想されるため、2.4%減の5.6%を見込んでおります。

第82期（2年目）を終えて

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方、建設資材価格の高騰など、依然として厳しい環境が続いております。そうした中、当期においては以下について取り組んでまいりました。

信頼	安全については、『全員参加による安全文化の確立のための「環境（組織）・人・仕組みづくり」を掲げ、労働災害や工事事務防止に取り組みました。品質については、非現業社員による現場の支援強化（品質パトロールなど）により品質管理体制を確立し、品質管理上の問題点について早期発見・解決に努めました。
競争力	受注競争激化の折、官公庁工事では官積算精度・技術提案力・企業評価点の向上や高い工事評定点の獲得により、安定受注に繋げることができました。また、民間建築工事の受注回復が奏功し、結果として目標を大幅に超える受注量が確保できました。
実行力	情報システム関連については、ハード・ソフト両面での基盤整備を実施するとともに、システムの安全かつ安定した運用のため、情報セキュリティ対策の強化にも継続して取り組みました。また、中長期的な完成工事高の確保を念頭において、企業活動の持続的成長のため、要員の確保と定着、人材の育成に取り組みました。

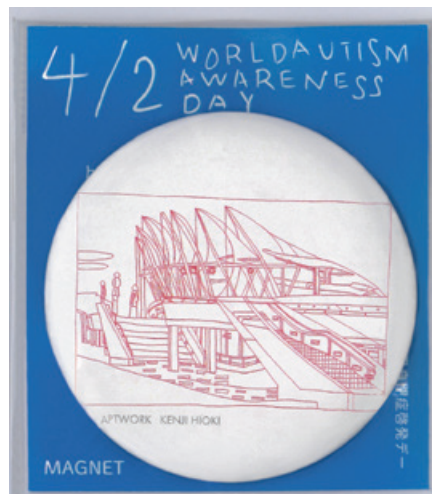
SDGsへの取り組み

アール・ブリュットを通じた障がい者支援活動

当社は、SDGsへの取り組みの一環として、アール・ブリュットを通じた障がい者支援活動を行っております。
 具体的な取り組みとして、アール・ブリュット作家に当社の施工物件を元にイラストを作成いただき、年4回発行している社内報の表紙に採用したほか、名古屋市主催の「世界自閉症啓発デー2023」へ協賛し、自閉症理解啓発グッズとして名古屋市提携施設内で配布される缶バッジに同イラストを使用しました。



当社社内報表紙



缶バッジ

アール・ブリュットとは

フランスの画家「ジャン・デュビュッフェ」によって考案された言葉。
 専門的な美術教育を受けていない方による自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術を示すもので、障がいのある方が制作されるアート作品を表す言葉としても用いられます。

会社概要

会社概要

商号	名工建設株式会社
英文商号	MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
設立	昭和16年6月28日
資本金	15億9,450万円
従業員数 (連結)	1,246名(令和5年3月31日現在)
本店所在地	名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
支店・営業所	東京支店・静岡支店・甲府支店・名古屋支店・ 大阪支店・北陸支店・福井営業所

株式の状況 (令和5年3月31日現在)

発行済株式の総数	株主総数	
27,060千株	1,730名	
大株主		
株主名	持株数 (単位：千株)	議決権比率 (単位：%)
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.47
名工建設社員持株会	1,777	7.03
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	4.75
株式会社りそな銀行	948	3.75
株式会社北陸銀行	913	3.61
株式会社みずほ銀行	806	3.19
東鉄工業株式会社	524	2.07
日本生命保険相互会社	511	2.02
興和株式会社	500	1.98
東邦瓦斯株式会社	500	1.98

※自己株式(1,816千株)を除く

取締役及び監査役

(令和5年6月27日現在)

代表取締役社長	松野 篤二
取締役	奥村 由政
取締役	出口 彰
取締役	安藤 陽一
取締役	高松 一郎
取締役	落合 弘
取締役	川越 正啓
取締役	石川 正俊
取締役	丹羽 慎治
常勤監査役	安藤 誠司
常勤監査役	堀場太民夫 ※
監査役	田宮 正道
監査役	内藤 雄順

※印は、第82回定時株主総会で新たに選任された役員です。

ホームページのご案内

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。
 施工実績、技術紹介など各種情報のほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。

<https://www.meikokensetsu.co.jp/>

名工建設

検索



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL https://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku

お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ34階
電話 052-589-1501



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

